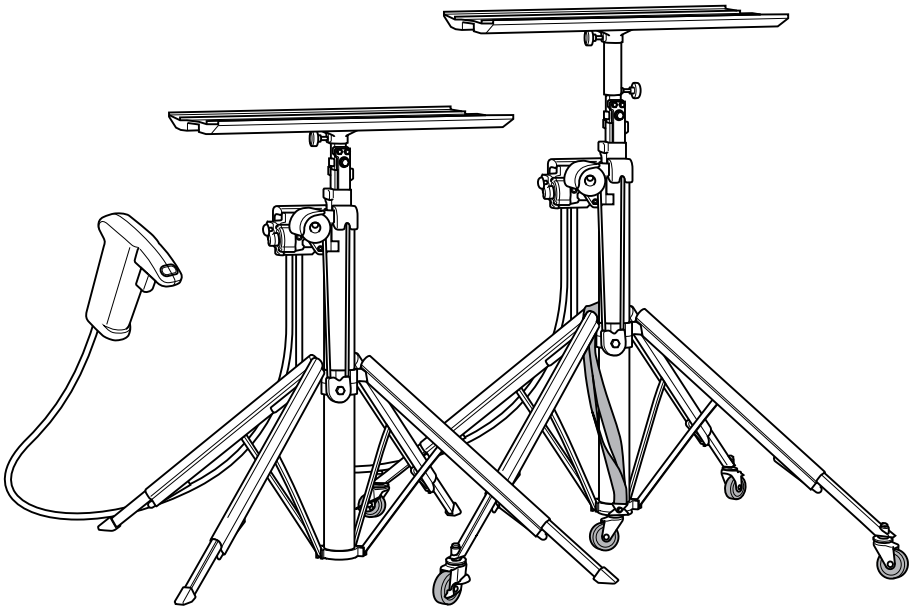
Asada

環境を守る親切ツール

ワイヤアッパー

電動ワイヤーアッパー

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1403

電動ワイヤーアッパー

安全にご使用いただくために

このたびは、電動ワイヤーアッパーをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  - 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書および本製品に使用している警告表示は、次の 3 つのレベルに分類されます。

危険 本製品に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。

警告 本製品に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

注意 本製品に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本製品に損傷をもたらす状態。

目　次

一般的な注意事項 …… 2
本機特有の注意事項 …… 5
製品の構成 …… 6
　各部の名称 …… 6
　警告ラベルの貼付位置 …… 7
　仕　様 …… 7
　標準付属品 …… 8
　別販売品 …… 8
準　備 …… 9
　組　立 …… 9
　本機の水平 …… 10
　段差での設置 …… 10
　キャスタ …… 10
　最大積載荷重 …… 11
　アルミ天板 …… 12
　延長アダプタ …… 12
　緊急停止ボタン …… 13
　電　源 …… 13
使用方法 …… 14
　上昇・下降操作 …… 14
　緊急停止 …… 15
　緊急停止ボタンの解除 …… 15
　手動操作 …… 16
　巻取り保護装置 …… 16
　過負荷保護装置 …… 17
　ワイヤの位置 …… 17
　収　納 …… 17
保守・点検 …… 18
　日常点検 …… 18
　6 ヶ月点検 …… 19
　スライド固定樹脂の調整方法 …… 20
　保　管 …… 20
修理・サービスを依頼される前に …… 21

一般的な注意事項

●ここでは、本製品を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。

●作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危険

◆可燃性の液体（ガソリン・シンナー等）や可燃性ガスのある場所では絶対に使用しないでください。

スイッチの開閉時や使用中にスパークを発生しますので、引火・爆発の恐れがあります。

◆濡れた手で電源プラグを電源から抜き差ししないでください。

感電やケガの原因となります。

◆使用前にワイヤロープを調べてください。

1 撚(よ)りの間で 10%以上素線が切断されているもの、直径が 7%以上減少しているもの、キンクしたもの、著しく形くずれ、または腐食がある場合は使用しないでください。（P.18『日常点検』参照）

◆改造は絶対行わないでください。

◆積載荷重を越える荷物を搭載しないでください。

定格荷重以上での使用は、アルミ天板の破損、荷物の落下、故障の原因になります。

◆アルミ天板上で荷物の横移動はしないでください。

荷物の重心がずれ、本機が転倒する恐れがあります。

◆柔らかい地面や傾斜面では使用しないでください。

砂や砂利等の不安定な場所は、本体が不安定となり荷物の落下や転倒により故障やケガをする恐れがあります。

斜面、穴、凹凸、破片、滑りやすい地面や床面などでの使用はおやめください。

電動ワイヤーアッパー

⚠ 警告

◆荷物の重心が本機の中心にかかるようにして使用してください。

◆本機に登ったり、ハシゴなどを掛けてマストの片側に負荷をかけないでください。

◆昇降中のアルミ天板（荷台）の下に入らないでください。
積載されたものが落下した場合、ケガを起こす恐れがあります。
上昇・下降の作業時には周囲に人がいなことを確認してから作業します。

◆操作中は駆動する部品に手・顔を近づけないでください。

◆荷物を固定しないまま持ち上げないでください。
天板から荷物が動かないよう荷物を固定させ、持ち上げる前にベルト等で縛ってください。

◆荷物を揺らすような運転はしないでください。

◆本機を伸ばした状態または荷物を搭載したままの状態で離れないでください。

◆昇降中の荷物を動かさないでください。

◆頭上に電線や障害物が無い場所で使用してください。

◆トラックの荷台など不安定な場所で使用しないでください。

◆修理技術者以外の人は、絶対に分解しないでください。また、改造は絶対にしないでください。
異常動作してケガをしたり、故障の原因となります。

◆作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。
特にお子様には十分にご注意ください。

◆雨中や強風時など悪天候の野外や、本機に水がかかる場所では使用しないでください。

⚠ 注 意

◆各マストに強い衝撃を与えないでください。また、マストを無理に引っ張らないでください。

◆本機をご使用いただく前に 2 ～ 3 回空運転を行ない、各部に不具合がないか確認してください。
特にしばらくご使用にならなかったときは、必ず実行してください。

◆弊社純正部品を使用してください。

◆適切な服装で作業をしてください。
操作時はヘルメット、安全靴、グローブを着用してください。
ネクタイや袖口の開いた服、編手袋、ダブダブの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。

◆能力を超えた作業及び、指定以外の使用はしないでください。
ケガをしたり本機が破損する恐れがあります。

◆作業場所、作業台は常に整理整頓を心がけてください。
安全面だけでなく、作業の能力アップにもつながります。

◆不安定な場所や無理な姿勢で作業しないでください。
転倒してケガをする恐れがあります。

電動ワイヤーアッパー

本製品特有の注意事項

⚠ 警 告

◆本機は、荷物専用の昇降用リフトになります。使用用途以外の用途には使用しないでください。人・動物の昇降用に使用しないでください。

◆本機使用の前に、すべての部品をチェックして、不足した部品・痛んだ部品がないか、確認してください。
不具合があった場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換してください。

◆荷物の荷重がアルミ天板端部にかからないようにしてください。
天板の破損、荷物の落下の原因になります。
使用中は常に安定とバランスが維持されるよう心がけてください。

◆破損したアルミ天板は使用しないでください。
荷物の落下の原因になります。

◆使用前に緊急停止ボタンの動作を確認し、緊急停止ボタンが確実に動作しないときは運転しないでください。

◆過負荷保護装置および巻取り保護装置が作動した状態で、リモコンのトリガーを引き続けないでください。
故障の原因となります。

◆本機の手動操作には、付属のハンドルのみを使用してください。
他のものを使用すると、本機を破損したり、危険をまねくおそれがあります。

◆電源ケーブルは鋭利な物、熱を帯びた物から遠ざけてください。

◆絶対に必要な場合を除き、延長コードは使用しないでください。
不適切な延長コードを使用すると火災・感電や機器の故障の原因となります。
屋外作業で延長コードが必要な場合は、2mm^2 以上 20m 以下の延長コードをご使用ください。

◆モータの通気口を塞がないでください。
モータの通機口は過熱を防ぐために必要となります。

◆使用前に本機が安定しているか、水準器で確認してください。

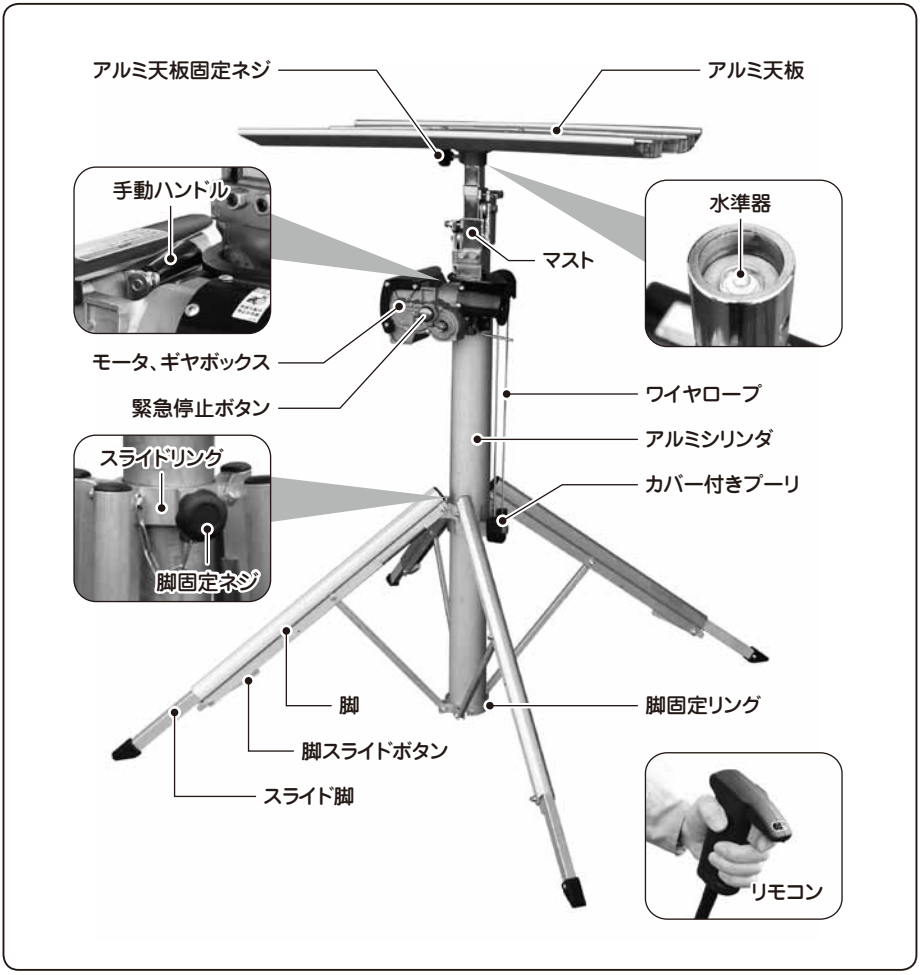
◆キャスタを使用した製品は水平な場所で使用してください。
段差、スロープでの使用は本機が移動する恐れがあり使用できません。

◆荷物を積載した状態で移動はしないでください。

◆使用時は、必ずスライド脚キャスタのブレーキを使用してください。

製品の構成

各部の名称

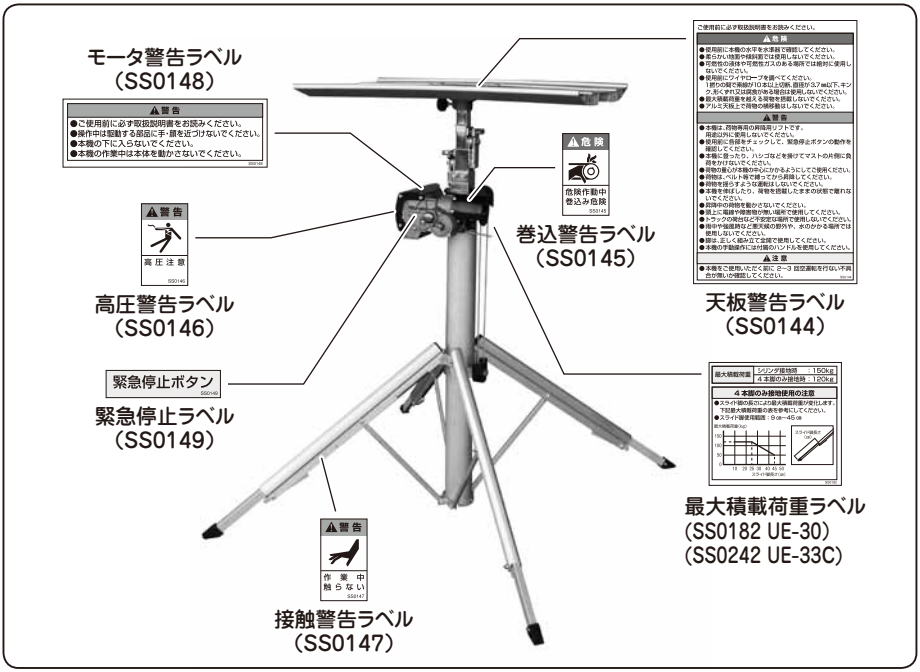


本取扱説明書はＵＥ－３０を使用して説明します。

電動ワイヤーアッパー

警告ラベルの貼付位置

- ラベルがはがれたり、汚れて見づらくなった場合には、弊社へご請求ください。
- ラベルは必ず同じ場所に貼付してください。



仕　様

品　　名		UE-30	UE-33C
コード No.		UE300	UE330
入力電源		単相 100V　50/60 Hz　800W	
昇降時間（積載無）		上昇 24 秒 / 下降 23 秒	
最大積載荷重	シリンダ接地時	150 kg	120 kg
	4 脚のみ接地時	120 kg	不可
高さ（最大）		3040 ㎜	3260 ㎜
高さ（最低）		1090 ㎜	1193 ㎜
天板寸法		745 × 435 ㎜	
開脚寸法		1010 × 1030 ㎜	1120 × 1220 ㎜
本体寸法（収納時時）		310 × 250 × 1075 ㎜	330 × 230 × 1170 ㎜
本体質量		26 kg	29 kg
騒　　音		95 dB	
リモコンコード		3m	
キャブタイヤコード		2.8m	

標準付属品

コード No.	品　　名	UE-30	UE-33C
UE3002	電動ワイヤーアッパー UE-30 本体	○	
UE3302	電動ワイヤーアッパー UE-33C 本体		○
UE3078	マスト飛出し防止ベルト	○	○
UE3079	延長アダプタ		○
UE3003	アルミ天板	○	○
UE3005	手動ハンドル	○	○
UE3004	天板カバー	○	○
IM0281	取扱説明書	○	○

電動ワイヤーアッパー

準　備

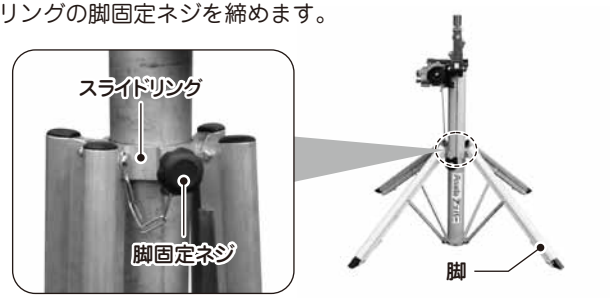
組　立

①水平な固い地面に本機を設置します。

設置する場所が不安定な場合は、アルミシリンダが接地する場所を養生します。

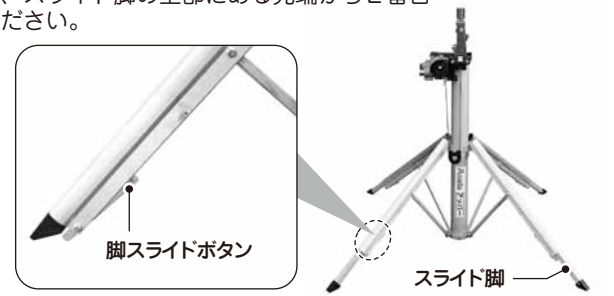
②スライドリングの脚固定ネジをゆるめて脚を広げます。

③脚が全開したら、スライドリングの脚固定ネジを締めます。



④脚スライドボタンを握り、スライド脚を伸ばします。
四本の脚が地面に接地するまで、スライド脚を一本一本伸ばします。
スライト脚の伸ばす長さは、スライド脚の上部にある先端から２番目の「赤点」を基準にしてください。

⑤脚スライドボタンから手を離すと、スライド脚が固定されます。



⚠ 注 意

◆脚は、全開で使用してください。
脚は正しく組み立ててください。半開での使用は転倒の恐れがあります。

◆必ず四本の脚が地面にしっかり固定して接地している状態で使用してください。
地面にしっかり固定して接地しないと転倒する恐れがあります。

本機の水平

① 本機は、水準器を内蔵しています。

② 水準器を見ながら、本機が垂直に設置されていることを確認します。

③ 垂直が出ていない場合は、各スライド脚の長さを調整して本機を垂直にします。

段差での設置（キャスタ無し UE-30）

本機のスライド脚は伸縮自在です。

右図のような段差のある場所でも設置できます。

設置後、本機が垂直状態にあることを水準器で確認してください。

キャスタ（キャスタ有り UE-33C）

①使用する場所へ本機を移動させ、位置決めを行います。

②スライド脚キャスタのブレーキをかけます。

⚠ 警 告

◆キャスタを使用した場合は、水平な場所で使用してください。
段差、スロープでの使用は本機が移動する恐れがあり使用できません。

◆シリンダのキャスタは、必ず接地して使用してください。

◆荷物を積載した状態で移動はしないでください。

◆使用時は、必ずスライド脚キャスタのブレーキを使用してください。

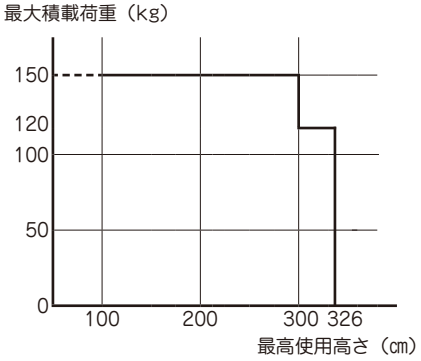
電動ワイヤーアッパー

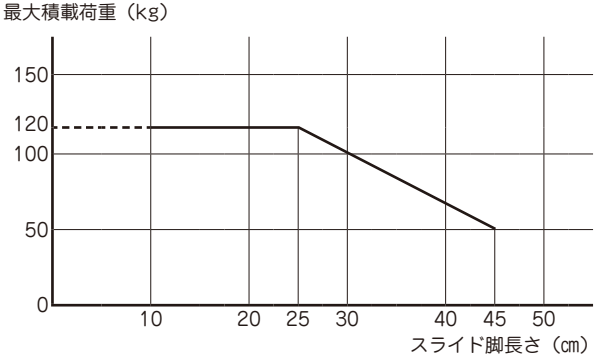
最大積載荷重（キャスタ無し UE-30）

最大積載荷重は、
・最高使用高さ
・スライド脚長さ
・キャスタの有無　で変化します。

最高使用高さによる最大積載荷重は右表の荷重範囲で使用してください。

シリンダを地面から浮かして 4 本脚で接地する場合は、最大積載荷重は 120kg となります。
またスライド脚の長さにより最大積載荷重が変化します。
スライド脚の長さは 9cm から 45cm の間で使用してください。（9cm と 45cm の位置にある「赤点」まで）
下記最大積載荷重の表を参考にしてください。





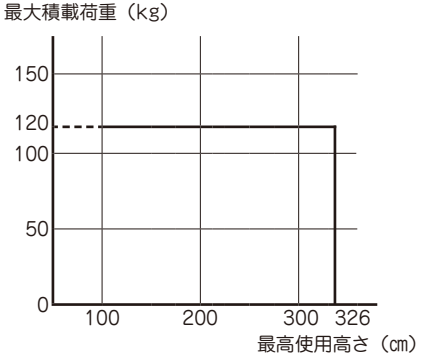
最大積載荷重（キャスタ有り UE-33C）

キャスタ有りの最大積載量は 120kg となります。
キャスタ有りによる最大積載荷重は右表の荷重範囲で使用してください。

⚠ 警 告

◆シリンダのキャスタは、必ず接地して使用してください。

シリンダのキャスタを地面から浮かした状態では使用できません。

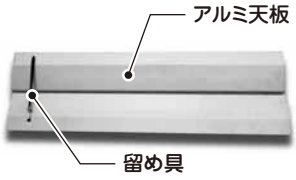


準備

アルミ天板

① アルミ天板を固定している留め具を外します。

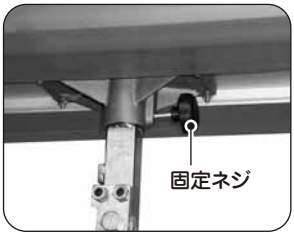
② アルミ天板を開きます。



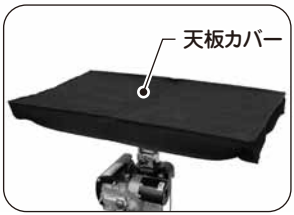
③ アルミ天板をマスト先端にセットし、すぐ下の固定ネジを締めて固定します。

警 告

◆ 固定ねじはしっかり締めてください。
固定ねじを締めないとアルミ天板が回転して荷物が落下します。



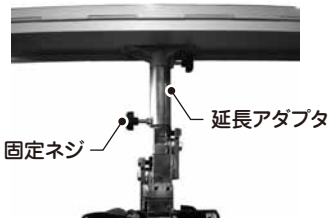
④ アルミ天板の上を養生が必要な場合は、付属の天板カバーをアルミ天板に載せて、その上に荷物を置きます。



延長アダプタ

ＵＥ－３３Ｃには標準で延長アダプタが付属しています。

①マスト先端に延長アダプタをセットします。
②固定ネジを締めて固定します。
③アルミ天板を延長アダプタ先端にセットします。
④アルミ天板の固定ネジを締めて固定します。



ＵＥ－３３Ｃ 高さ表

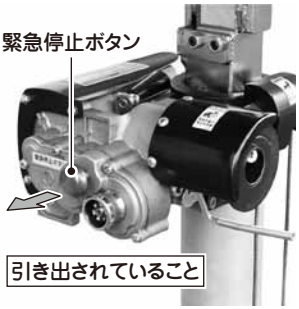
品　名		UE-33C
高さ（最大）	延長アダプタ有り	3260 ㎜
	延長アダプタ無し	(3133 ㎜)
高さ（最低）	延長アダプタ有り	1320 ㎜
	延長アダプタ無し	(1193 ㎜)

電動ワイヤーアッパー

緊急停止ボタン

① 本機には、緊急停止ボタンが装備されています。

緊急停止ボタンが、引き出されていることを確認します。



電　源

電源電圧が 100V 50/60Hz のコンセントに、電源ケーブルを接続します。

使用方法

⚠ 警 告

◆絶対に必要な場合を除き、延長コードは使用しないでください。
不適切な延長コードを使用すると火災・感電や機器の故障の原因となります。
屋外作業で延長コードが必要な場合は、2mm^2 以上 20m 以下の延長コードをご使用ください。

◆使用前にワイヤロープに損傷がないか点検します。

上昇・下降操作

上昇、下降の操作は、リモコン上部の「UP」「DOWN」のマークの方向に切替レバーをシフトし、トリガーを引きます。

上昇 : リモコンの「UP」マークの方向に切替レバーをシフトしてからトリガーを引くと上昇します。

下降 : リモコンの「DOWN」マークの方向に切替レバーをシフトしてからトリガーを引くと下降します。

トリガーはスピードコントローラも兼ねています。

トリガーを軽く引くと、アッパーが低速で作動します。
トリガーを強く引くと、作動スピードが上がります。

⚠ 警 告

◆アッパーには乗らないで下さい。このアッパーは乗用ではありません。
人・動物の昇降用に使用しないでください。

◆雨中や強風時など悪天候の野外や、本機に水がかかる場所では使用しないでください。
荷物が急激に落下して荷物の破損、ケガをする恐れがあります。

電動ワイヤーアッパー

緊急停止

不測の緊急事態が発生した時は、緊急停止ボタンを押してください。

上昇中、下降中にかかわらず、機械の作動が即座に停止します。

また、アルミ天板の位置は停止した位置で維持されます。

緊急停止ボタンの解除

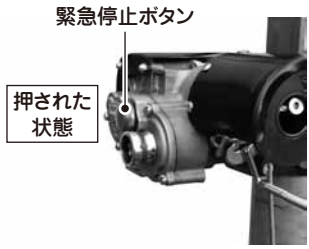
緊急停止ボタンが押されている場合は、緊急停止ボタンを引き出します。

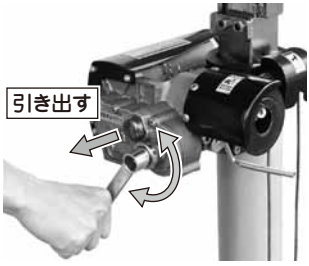
緊急停止ボタンを解除できない時は、

① 手動ハンドルを本機に取付け、ハンドルを左右どちらかに回転させます。

② 反対の手で緊急停止ボタンを引き出します。

③ 緊急停止ボタンが解除できます。





手動操作

手動ハンドルを本機に取付け、ハンドルを回転させて上昇または下降することができます。

① 緊急停止ボタンを押します。

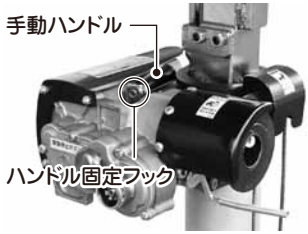
② ハンドル固定フックより手動ハンドルを外します。

③ 手動シャフトに手動ハンドルを差し込みます。

④ 左に回すと上昇、右に回すと下降になります。

⑤ 手動操作が終了したら、手動ハンドルを手動シャフトより外し、ハンドル固定フックに固定します。

⑥ 緊急停止ボタンを引き出します。



⚠ 警 告

◆手動操作を行う時は、アルミ天板より低い位置で操作してください。

巻取り保護装置

リモコンの切替レバーを「DOWN」マークの方向のままトリガーを引き続けると、最低高さまで降下した後、「ダッ、ダッ、ダッ」という音が発生し、巻取り保護装置が作動します。

これは、ウインチが逆回転でのワイヤ巻取りによるアッパーの上昇を防ぐための安全装置です。

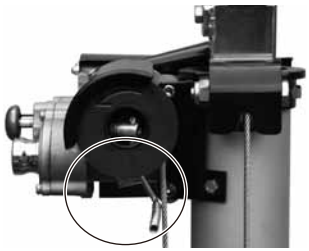
最低高さまで下降させた後、再び上昇させる前にリモコンの切替レバーを「UP」マークの方向に切替えます。

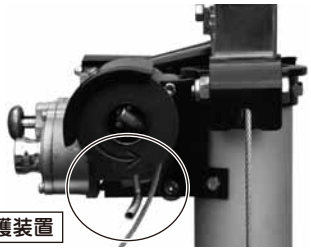
巻取り保護装置が作動した場合は、

① リモコンの切替レバーを「UP」マークの方向に切替えます。

② トリガーを引くと、本機が一旦下降します。継続して引き続けると上昇に移動します。

常に「UP」および「DOWN」の切替えを確実に操作してください。





巻取り保護装置

電動ワイヤーアッパー

過負荷保護装置

過積載・最高高さでの過負荷を防止するため、過負荷保護装置が作動します。

過負荷保護装置が作動すると、「ダッ、ダッ、ダッ」という音が発生し、過積載の場合、本機の上昇が停止します。作動した場合は、荷物を最大積載荷重以下に下げます。

それ以下の荷重の場合、最高高さの位置で作動停止します。

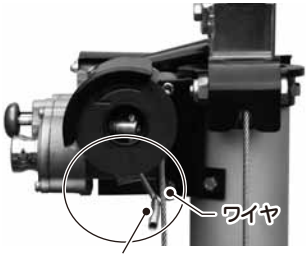
過負荷保護装置

ワイヤの位置

ワイヤの位置が正常な位置に無い場合は、下降した後そのまま作動させ続けますと逆転して上昇に転じます。
これは、ワイヤが正常な位置に無いためです。
正常な位置へ変更します。

本機を最低高さまで下降させてワイヤが緩んでる状態で、巻取り保護装置の巻取保護レバーを手で内側に入れてください。

最低高さまで下降させて、そのまま作動させると「ダッ、ダッ、ダッ」と言う音が発生するのが正常な状態です。



正常なワイヤの位置

収　納

① アッパーを最低高さに戻します。

② アルミ天板下の固定ネジをゆるめて、アルミ天板をアッパー本体から取外します。

③ 脚スライドボタンを握り、スライド脚を脚に収納します。

④ スライドリングの脚固定ネジをゆるめて、脚を畳みます。

⑤ 再びスライドリングの固定ネジを締めます。

⑥マスト飛出し防止ベルトをマストの先端に掛けてください。

保守・点検

●以下の箇所を定期的に点検・清掃し、適時修正または交換を行ってください。

⚠ 警 告

◆改造は絶対しないでください。
アッパーの改造は、ケガや死につながります。

⚠ 注 意

◆磨耗や損傷したものは、弊社純正部品と交換してください。
本機が破損したり、ケガを負う恐れがあります。

◆ワイヤロープへは給油しないでください。
ごみの付着によるワイヤの劣化、稼動面への悪影響があり給油禁止です。
シリコングリス等の影響の少ないものを塗布してください。

日常点検

① ワイヤロープに以下の損傷がないか点検します。

・1 撚(よ)りの間に 10% 以上素線が切断されている
（10 本以上）
・直径が 7% 以上減少している
（直径 φ 3.7mm 以下）
・キンクしたもの
・著しく形くずれ、または腐食

ワイヤロープに異常があった場合は、ワイヤロープを
取替えるまでアッパーを使用しないでください。

電動ワイヤーアッパー

② すべてのボルトとナットが締められているか確認してください。

③ ウインチが自由に操作でき、ワイヤロープがウインチドラムに絡まっていないか確認してください。

④ 脚がしっかりと本体に固定されていてシリンダ、脚、脚ベース、本体、各部品に曲がり、へこみやキズがないか確認してください。

⑤ 付属の手動ハンドルが固定フックに固定されていて、磨耗や曲がりがないか確認してください。

⑥ 緊急停止ボタンが作動していない状態（解除）であることを確認してください。

⑦ プーリのハウジングにプーリが回転するのを妨げるキズ（へこみ）がないか確認する。

⑧ ワイヤロープがすべてのプーリに収まり、障害なくプーリが回ることを確認する。

⑨ マストが自由に、スムーズに動くか確認する。

ワイヤロープのスライド部に、ゴミや錆がないか確認し、スライド部にシリコン潤滑剤を軽くスプレーする。

⑩ キャスタに異常が無いか確認してください。

車輪・ベアリングの回転に不具合、車輪・ベアリングが破損、キャスタの取り付けにゆるみが無いかを確認します。異常がある場合は、キャスタを交換してください。

⑪ 使用後は全体を清掃してください。

全体の汚れはやわらかいウエスでふき取り、汚れがひどいときは、水で浸した布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。その後、乾いた布で拭いてください。

6 ヶ月点検

① ワイヤロープにキンク（ねじれ）やほつれがないか検査する。

② ウインチが自由に操作でき、部品が傷ついたり、紛失していないか確認する。

スライド固定樹脂の調整方法

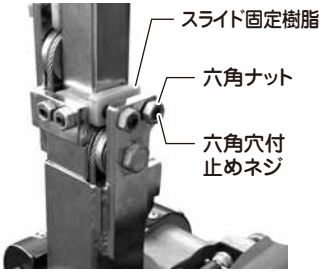
マストの横隙間が出た場合は、スライド固定樹脂を調整します。

① 六角ナットをゆるめます。

② 六角穴付止めネジを締め込み、隙間を調整します。

③ 六角ナットを締めて固定します。

④ マストがスムーズに動くか確認します。



保　管

① 保管条件

保管温度	-5℃ から 45℃ まで
湿　　度	90％未満（結露なきこと）
保管場所	屋内

② 本機は平らな場所に保管してください。

本機の上に重い物を載せないでください。 積み重ねる場合は、梱包箱に入れて、梱包箱表面の記載事項に従ってください。

③ 本機を保管する場所は、振動がなく、破損を受ける危険性のない場所を選んでください。

④ 付属品は、本機と一緒に保管してください。

⑤ 保管期間の制限

本機は、保管または輸送中に保管条件に適合しない環境に置かないでください。
また、保管条件に適合した保管場所であっても、金属部分の錆付きや部分的な欠陥を発生させないため、本製品を 3 か月以上放置しないでください。

電動ワイヤーアッパー

修理・サービスを依頼される前に

●修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。
それでも解決されない場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

●正しくご使用いただかない場合や、本商品の用途以外に使用して故障した場合は、
保証の対象外となります。

現　象	原　因	対　策
マストが上がらない	過積載 最大積載荷重以上の物を上げようとしている	最大積載荷重以下で使用する
	アルミ天板中心に荷物の重心がきていない	荷物の重心をアルミ天板中心になるように荷物を動かす
	マストのローラが回らない	シリコン潤滑剤で潤滑させる
	マストのローラ部に ゴミや障害物がある	ゴミや障害物を取り除く
	プーリホイールが回らない	プーリホイールにキズがある場合、ホイールは滑らかに回転しないので、ホイールを交換する
	ワイヤロープにキズがないか確認する	ワイヤロープがねじれたり、磨耗したり、ほつれたりしていたら、ワイヤロープを交換する
	マストにキズがないか確認する	キズのついたマストを交換する
これらの解決策でもまだ問題が残る場合	−	販売店または弊社に連絡する

ELECTRIC WIRE LIFT

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号　：
購入年月日：　　年　　月　　日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本　社／名古屋市北区上飯田西町3-60　TEL(052)911-7165　E-mail:sales@asada.co.jp

支　店／東京・名古屋・大阪
営業所／札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

www.asada.co.jp

海外事業所
アサダ・タイランド社　(バンコク)
台湾浅田股份有限公司　(台北)
アサダ・アーロンコ マシナリー社　(クアラルンプール)
アサダ・ベトナム社　(ホーチミン)
アサダ・インド社　(ムンバイ)
上海浅田進出口有限公司　(上海)
アサダ USA　(オレゴン州・ユージン)

工　場
犬山工場　(愛知県・犬山市)
第一精工株式会社　(松阪市)
アサダ・マシナリー社　(バンコク)

コード No. IM0281
A